

消 防 年 報

(平成 2 3 年度)



交野市消防本部

目 次

沿革（消防本部・消防団）及び組織図	1
-------------------	---

総務課編

[庶務・管理係]

事務事業	1 1
1 一般会計に占める消防予算（当初予算）	1 1
2 3年間の消防予算の推移（当初予算）	1 1
3 消防本部（署）階級別職員数	1 2
4 現有職員配置状況	1 2
5 消防本部文章受発状況	1 2
6 支出命令書（予算）執行件数	1 2
7 庁舎等維持管理関係委託状況	1 2
8 消防署見学状況	1 3
9 職員教養派遣状況	1 3

[消防団係]

事務事業	1 4
1 消防団の組織	1 4
2 主要事業一覧	1 5
3 火災等出動状況	1 5
4 階級別団員数	1 6
5 年齢別団員数	1 6
6 勤続年数別団員数	1 7
7 団員職域状況	1 7
8 退職報賞金支給状況	1 7
9 消防団補助金交付状況	1 7
10 消防団車両等保有状況	1 8

予防課編

[予防係]

事務事業	1 9
1 防火対象物	2 0
2 建築同意事務処理状況	2 1
3 用途別建築同意状況	2 1
4 消防用設備等の設置届出状況	2 2
5 消防用設備等の設置状況	2 3
6 中高層防火対象物状況	2 4
7 防火管理者選解任届出状況	2 5

8	消防検査・立入査察実施回数	2 5
9	山林パトロール実施状況	2 5
1 0	訓練指導	2 5
1 1	出前講座	2 5
1 2	住宅用火災警報器の地区別設置状況等	2 6

[危険物係]

	事務事業	2 7
1	危険物施設数	2 8
2	危険物施設類別状況	2 8
3	地区別危険物施設状況	2 9
4	危険物手数料納付状況	3 0
5	消防検査・立入査察実施件数	3 0
6	危険物関係事務処理件数	3 1

警備課編

[警備係]

	事務事業	3 2～3 3
1	火災統計	
	(1) 過去3年間の火災概況	3 4
	(2) 地区別・月別火災発生状況	3 5

[救急係]

2	救急統計	
	(1) 過去3年間の事故別救急出動状況	3 6
	(2) 地区別救急出動状況	3 7
	(3) 年齢別救急搬送状況	3 8
	(4) 所要時間別病院収容状況	3 8
	(5) 診療科目別搬送状況	3 8
	(6) 月別重複救急出動状況	3 8
	(7) 救急隊員が行った救急処置状況	3 9

[救助係]

3	救助統計	
	(1) 救助出動状況	4 0
	(2) 救助出動前年度比較表	4 1
	(3) その他の緊急出動状況	4 1

[通信指令係]

4	通信統計	
	(1) 119番受信状況	4 2

(2) 無線局一覧表	4 2
(3) 気象関係	4 2
①気象情報受信状況（大阪管区気象台発表）	4 2
②気象観測状況（消防本部観測）	4 2
5 年間行事・訓練	
(1) 年間行事	4 3
(2) 訓練指導状況	4 3
(3) 体験学習実施状況	4 3
6 消防施設等状況	
(1) 管内水利状況	
ア・市街地	4 4
イ・山地内（パイプライン施設）	4 5
(2) 保有車両状況	4 6
7 各種事業実績	
(1) 消防施設整備委託事業等	4 6
(2) 通信設置整備事業等	4 7
(3) 負担金補助支出状況	4 7
8 各種届出等状況	
(1) 各種届出等事務処理状況	4 8
(2) 各種証明書発給状況	4 8

消 防 本 部（署）の 沿 革

- 45年 4月 常備消防発足準備のため、職員7名を採用
- 7月 救急車の寄贈を受ける（日本船舶振興会）
- 46年 3月 消防団用短波無線を導入し、基地局および移動局を設置
救急情報センター端末機を設置
- 11月 交野市市政施行、初代市長に原田誠一氏が就任同日、交野市大字私部
3055番地に交野市消防本部（署）を設置、創設消防長事務取扱に
中田良雄氏が就任、職員29名、タンク車、救急車、指令車で業務開始
ポンプ車（BS-1型）を消防署に配置
- 47年 11月 初代消防長に有家昭男氏が就任
- 48年 4月 救急車を消防署に配置（大阪府モーターボート競走会寄贈）
- 10月 消防本部に連絡車を配置
- 49年 4月 消防本部に査察車を配置
- 5月 府民の森に於いて大規模山林火災が発生
- 7月 交野市消防庁舎が天野が原町4丁目8番1号に完成、庁舎屋上に望楼監視テレビ
装置を導入し、業務開始
- 50年 1月 救急一斉指令装置を導入し、消防活動の強化を図る
- 2月 消防庁舎敷地内に自家給油取扱所を設置、消防車両の給油を開始
- 6月 二代目消防長に中隆氏が就任
- 10月 スノーケル車（16メートル級）を消防署に配置
- 51年 5月 消防庁舎前府道交野久御山線に緊急出動予告灯を設置
- 8月 ポンプ車（BD-1型）を消防署に配置（日本損害保険協会寄贈）可搬式
ポンプ（C-1級）を消防署に配置
- 52年 5月 救命用ゴムボートを消防署に配置
- 53年 3月 救急車を消防署に配置（交野ライオンズクラブ寄贈）
山林火災対策事業として初めて消防用パイプライン及び防火水槽を設置
（獅子窟寺一期工事）
- 4月 自治体消防30周年及び長官表彰旗受賞記念式典並びに殉職者慰霊祭を
青年の家に於いて挙行
- 8月 電波法の改正により中短波無線局は廃局
- 54年 3月 消防用パイプライン及び山林防火水槽を設置（獅子窟寺二期工事）
市域境界線上に位置する消防対象物の取扱い協定を枚方・寝屋川・四条畷
の各市と締結
- 4月 医療情報システム CRT ディスプレイ装置端末機を導入
- 8月 タンク車（Ⅱ型）を消防署に配置
- 10月 消防用パイプライン設置（星田妙見宮）
- 55年 3月 消防長事務取扱に原田誠一市長が就任
- 4月 三代目消防長に有家昭男氏が就任
- 8月 可搬式ポンプ（D-2級）を消防署に配置（大門至氏寄贈）
- 10月 府県共通波消防無線を導入

- 56年 3月 消防用パイプライン設置（森古墳群）
 4月 救急車を消防署に配置（大阪府モーターボート競走会寄贈）
 8月 大阪ガス（株）と「ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ」調印
- 57年 3月 山林火災用防火水槽設置（森古墳群）
 消防用パイプライン設置（倉治宮山）
 傍示地区消防対策として谷川を利用した防火水槽を設置、同地区自衛消防用可搬式ポンプ等資機材を配置
- 10月 交野市消防少年少女音楽隊結成
- 58年 3月 消防用パイプライン設置（獅子窟寺三期工事）
 4月 連絡車を消防署に配置
 9月 ポンプ車（CD－1型）を消防署に配置
- 59年 3月 消防用パイプライン設置（寺地区住吉神社～かいがけの道）
 4月 軽ダンプを消防署に配置（交野市火災予防協会寄贈）
- 60年 2月 可搬式ポンプ等資機材を星田山手地区に自衛消防用として配置
 3月 消防用パイプライン設置（傍示～かいがけの道）
 4月 消防長事務取扱に原田誠一市長が就任
 四代目消防長に古賀三徳氏が就任
- 10月 消防用パイプライン設置（白旗池～交野山・白旗池～源氏の滝）
- 61年 11月 消防用パイプライン設置（野外活動センター～旗振山）
 山林火災用防火水槽設置（郡南街道）
 大正15年に新調された磐船村に配置された腕用ポンプを復元
- 62年 3月 救急車を消防署に配置（大阪府共済農業共同組合連合会寄贈）
 防火水槽設置（月の輪の滝）
 7月 消防用パイプライン設置（倉治雪ヶ原）
- 62年 9月 化学車（1型）を消防署に配置（日本損害保険協会寄贈）
 11月 交野市他6市が「大阪府東部林野火災特別地域」に指定された
- 63年 11月 複雑多様化する災害を軽減するため、消防緊急情報システム（I型）の更新工事を行い即応性のある消防体制の確立を図った
- 12月 消防用パイプライン設置（交野カントリー交野山ルート）
- 元年 3月 消防用パイプライン設置（交野山私部口山ルート）
 消防用パイプライン放水口増設工事（かいがけの道ルート）
 山林火災対策用防火貯水槽補修工事（傍示）
 8月 消防用パイプライン設置（私市山手土生川ルート）
 10月 消防用パイプライン設置（倉治山手配水池ルート）
- 2年 3月 消防用パイプライン設置（星田妙見川・傍示関電道路・白旗池北各ルート）
 11月 消防用パイプライン設置（私部郡南街道大曲ルート）
 12月 消防用パイプライン設置（星田新宮山ルート）
- 3年 2月 救急波を導入し、平成3年2月1日から運用を開始
 2月 消防用パイプライン設置（獅子窟寺仁王門ルート）
 3月 獅子窟寺関連ルートに格納箱（3箇所）及び山林防火広報標識（2箇所）を設けた

- 7月 全国消防救助技術大会近畿地区指導会へほふく救出競技に出場
- 9月 消防用パイプライン設置（私部郡南街道上ルート）
- 10月 救助工作車Ⅱ型を消防署に配置
- 4年 1月 消防用パイプライン設置（私部郡南街道下ルート）
- 3月 通信業務の充実を図るため、府県波無線基地局の更新改修工事を行った
消防用パイプライン設置（森南古墳群上ルート）
条例定数の見直しを行い職員数73名とした
- 4月 消防長事務取扱に井上信夫助役が就任
五代目消防長に北田樹徳氏が就任
消防署に救急担当を置く
- 9月 消防用パイプライン設置（傍示・私部住吉神社地ルート）
- 10月 消防ポンプ自動車（CD－1型・四輪駆動）を更新し配備
- 6年 3月 救急隊員の行う応急処置等の基準の改正に伴い、中規格救急車を導入し、
平成6年3月11日より運用を開始
消防用パイプライン設置（私市・獅子窟寺参道ルート）
- 4月 予防課予防査察車配備
- 7年 1月 阪神・淡路大震災応援出動（指揮隊・救助隊・救急隊・消火隊等延べ
7日間述べ23台述べ60名を特別派遣）
- 1月 消防用パイプライン設置（土生川・きつね山ルート）
- 7月 枚方信用金庫より人員搬送車の寄贈を受け、配備
- 9月 タンク車を更新し配備
- 10月 全国波基地局増強改修工事
- 8年 3月 梯子車（40m級）を消防署に配備
耐震性防火水槽（2槽40t）設置工事（妙見坂1丁目ちびっこ広場内、
倉治3丁目ちびっこ広場内）
消防用パイプライン設置（私市・尺治坪坂ルート）
分団サイレン遠隔装置（遠隔装置7ヶ所）取り替え及び収納端子盤取り付け工事
- 9月 救急車（2B型）を消防署に配置（財団法人日本消防協会寄贈）
全国共通波（移動局）増波改修工事（車載用7基 携帯用4基）
大規模災害消防応援実施計画に基づく、大阪府・大阪市合同震災総合訓練に
ブロック代表としてポンプ車分隊1隊が参加
- 9年 1月 耐震性防火水槽（1槽40t）設置工事（郡津3丁目22広場内）
- 2月 消防用パイプライン設置（星の里いわふねルート）
- 8月 府の事業として、天野川両岸河川敷内（松塚及び枚方市釈尊寺地区）に
防災用ピットが完成
- 9月 消防本部、署、団合同で天野川緑地内において大中継送水訓練を実施
- 10月 高規格救急車を消防署に配置
ISDN回線工事（自動車電話及び携帯電話から119番受信）
- 11月 大規模災害消防応援実施計画に基づく、緊急消防援助隊、近畿ブロック
合同訓練(京都府精華町)に東ブロックを代表としてポンプ車分隊1隊が参加
- 12月 自動車電話及び携帯電話から119番受信運用開始

- 10年 3月 耐震性防火水槽（1槽40t）設置工事（私市若宮神社地内）
消防用パイプライン設置（星田新池右岸ルート）
- 10月 大阪府防災行政無線設備設置工事に伴い、無線基地局制御器移設工事を行った
- 11月 地域総合防災訓練が総合体育施設駐車場において実施され、消防本部、
消防署、消防団が参加
消防用パイプライン設置（星田新池左岸ルート）
耐震性防火水槽（1槽40t）設置工事（寺会館敷地内）
救急車に搭載しているアナログ方式自動車・携帯電話の電波が効率的に使用
できるデジタル方式に移行するため、心電図伝送システム等をデジタル方式に
転換した
- 11年 10月 CD-1型消防ポンプ自動車（水槽付900ℓ）を導入し、26日より運用開始
- 11月 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練が近畿2府7県主催により堺市において
実施され、これに参加
- 12年 7月 枚方信用金庫よりインパルス消火システム・ノートパソコン・プリンターの
寄贈を受け、配備
- 13年 8月 市制施行30周年に伴い、記念式典・交野まつり会場へ、救急隊等を事前進駐
し警戒・警備に努めた
- 14年 4月 消防長事務取扱に阪長保助役が就任
8月 消防長事務取扱に奥田鐵彦氏が就任
- 15年 4月 六代目消防長に林隆氏が就任
- 10月 平成15年度緊急消防援助隊・近畿ブロック合同参集訓練（万博公園東駐車場）
及び大阪府隊合同訓練（大阪市消防学校）に参加
- 12月 昭和62年製消防緊急通信指令台を高機能緊急通信指令システム（指令台）に
更新し運用を開始（リース）
- 16年 1月 火災報告オンライン処理システムを運用開始
高度救命用資器材を積載した本市2台目となる高規格救急車を導入し、運用開始
- 7月 交野ロータリークラブより庶務貨物車の寄贈を受け、配備
- 12月 インターネット・プロトコルト（IP電話）の119番専用回線を導入し、
運用開始
- 17年 1月 心配蘇生統計基準（ウツタイン様式）に基づく心配機能停止傷病者記録票調査
統計処理オンラインシステムを運用開始
- 4月 七代目消防長に青木奈良夫氏が就任
枚方信用金庫より指揮車の寄贈を受け、配備
- 9月 消防庁舎耐震補強・改修工事を行った（平成17年9月から平成18年6月まで）
- 12月 携帯電話からの119番通報について、総務省消防庁通達に基づき、地域を代表
する消防本部が受信し、管轄消防本部へ転送する「分散受信方式」から、直接
管轄消防本部で受信する「直接受信方式」へ移行したため、直接受信方式の整備を
図り、府下消防本部一斉に運用開始
消防用緊急通報電話に関して、災害発生場所をより迅速且つ的確化する観点、
から発信地を自動的に表示する「新発信地表示システム」と「地図検索装置」を
導入し、運用開始

- 17年12月 緊急消防援助隊に伴う消防用資機材を整備
- 18年 2月 条例改正に伴う住宅用火災警報器設置の義務化についてのチラシを
市内全住戸に配布
- 3月 救急波の老朽化に伴い、基地局を更新し、通信・救急業務等のホットラインの
強化を図った
- 12月 II B 型救急車の老朽化に伴い、本市3台目となる高規格救急車（高度救命用
資器材積載）を更新配備
- 19年 2月 市町村波無線基地局の老朽化に伴い基地局を更新
- 4月 八代目消防長に中角弘文氏が就任
- 7月 交野市予防協会より広報連絡車の寄贈を受け、配備
- 10月 NOx・PM法の規制により継続車検を受けることができなくなったため、
化学車を廃車
- 10月 NOx・PM法の期限満了による既存救助工作車の廃車に伴い、新鋭の
救助工作車（II型）を更新配備
- 20年 4月 九代目消防長に池埜修氏が就任
- 10月 NOx・PM法期限満了による既存ポンプ車（4号）廃車に伴い、新鋭の
消防ポンプ自動車（CD-1型・CAFS搭載車）を更新配備
- 22年 1月 第二京阪道路開通に伴う（枚方東インターチェンジ～門真ジャンクションまで）
消防相互応援協定を締結した
- 3月 第二京阪道路開通に伴う合同訓練を、本市消防本部・枚方寝屋川消防組合消防
本部・守口市門真市消防組合消防本部・四条畷市消防本部・大阪市消防局（航空
隊）・京田辺市消防本部・大阪府警察本部交通部高速道路交通警察隊・西日本高速
道路株式会社で実施
- 22年 4月 10代目消防長に新庄豊氏が就任
- 5月 統合型位置情報通知システム導入
（位置情報発信装置導入費、IP-VPN回線初期構築費、IP-VPN回線利用料
等の費用は事証実験対象により、総務省消防庁が負担）
- 7月 消防救助技術近畿地区指導会へ参加
（兵庫県三木市・広域防災センターに於いて、はしご登はん競技に4名出場）
- 7月 消防職員対象の交通安全講習会実施
- 7月 枚方信用金庫より事務用品・機材及び予防査察車の寄贈を受け、配備
- 9月 住宅用火災警報器の全住宅への設置を目指すと共に、火災による死傷者の
低減を目的とし、緊急雇用対策事業を活用し臨時職員2名を採用して
23年2月末日までの間、市内約23,000世帯に設置率の把握及び
アンケート調査を実施
- 10月 消防救急無線デジタル化に伴う東ブロック共同で電波伝搬調査実施
- 11月 大阪府北河内地域7市合同訓練防災訓練（大東市深北公園）救急車（3名）参加
- 23年 3月 東北地方太平洋沖地震発生により、緊急消防援助隊大阪府隊として
岩手県大槌町へ派遣
（平成23年3月11日（金）8時30分、職員5名を第1次隊として被災地に、

第2次隊職員4名を平成23年3月13日（日）午後2時に交代要員として派遣）

○ 平成23年3月15日（火）一次隊帰阪

○ 平成23年3月20日（火）二次隊帰阪

23年 4月～保安3法の権限委譲に伴い、大阪府が主催する法令研修、受付業務を主とした受け入れ研修及び検査業務を体験するための同行研修等各種研修に参加。

6月 最新の半自動式除細動器を更新配備。

8月 消防救急無線デジタル化に伴う基本設計を実施。

10月 指令台構成パーソナルコンピュータの更新を実施。

10月 NOX・PM法の期限満了による既存タンク車（1号）廃車に伴い新鋭災害対応特殊水槽・キャフス付消防ポンプ自動車（I-B型）（タンク車）を更新配備

24年 2月 消防本部・署・団との合同山林中継訓練実施（大阪府民の森くろんど園地）

3月 消防本部に消防用人員搬送車新規購入し配備。

3月 東日本大震災の活動費が消防費国庫補助金として歳入。

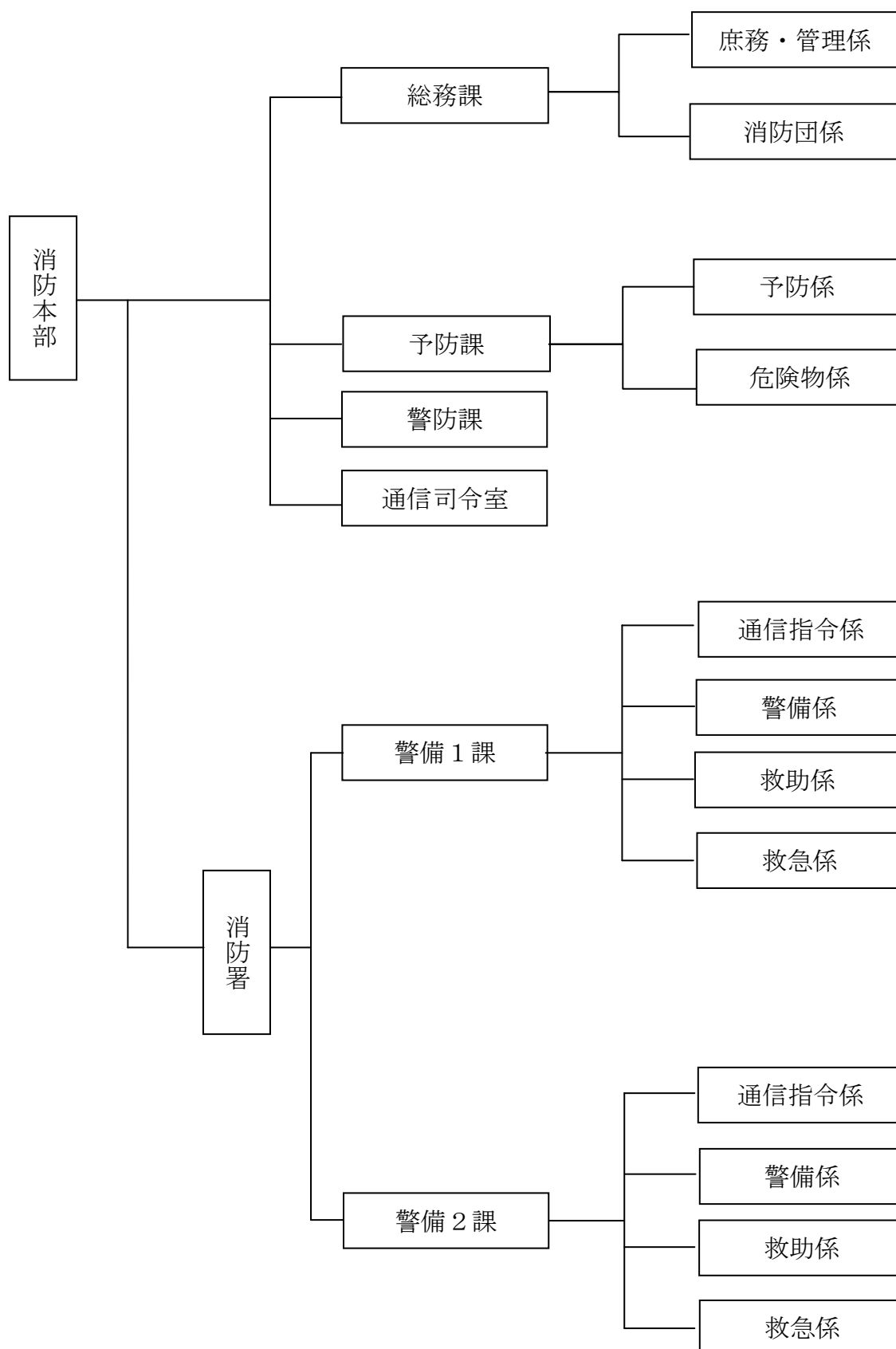
非 常 備 消 防 の 沿 革

昭和 22 年	4 月	消防団を結成
	4 月	初代消防団長に岡本安治郎氏が就任
27 年	4 月	消防団本部に小型四輪ポンプ車を配備
30 年	4 月	交野町と星田村が合併し新交野町となり、倉治、郡津、私部、森寺、私市、星田の 7 分団からなる消防団を編成
	4 月	二代目消防団長に大中太三郎氏が就任
33 年	4 月	三代目消防団長に大門英三氏が就任
37 年	2 月	日本消防協会長から竿頭綬を受章
	3 月	消防団本部にポンプ車を配備
	4 月	四代目消防団長に中嶋小次氏が就任
38 年	2 月	日本消防協会長から竿頭綬を受章
	3 月	私部、星田、私市の各分団にポンプ車を配備
	7 月	五代目消防団長に大門至氏が就任
40 年	2 月	日本消防協会長から表彰旗を受章
	3 月	倉治分団にポンプ車を配備
43 年	2 月	森、寺分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	3 月	大阪府知事から表彰旗を受章
	6 月	役場職員で本部分団を編成（8 分団となる）
44 年	1 月	本部分団にタンク車を配備し、本部分団に配備していたポンプ車を郡津分団に配備替
	3 月	消防団本部に交野町火災予防協会から指令車の寄贈を受ける
	9 月	消防庁長官から林野火災の被害最小限の功により表彰を受章
	12 月	消防団本部庁舎の増築及び私部分団車庫完成
45 年	1 月	倉治、郡津、星田、私市の各分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	3 月	私部及び本部分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	12 月	倉治分団員厚主嘉一氏が訓練中殉職（二階級特進）
46 年	7 月	私市分団車庫完成
47 年	3 月	消防庁長官から竿頭綬を受章
昭和 48 年	5 月	倉治分団車庫完成
	10 月	郡津分団車庫完成、可搬式ポンプ積載車配備
49 年	9 月	私部分団に可搬式ポンプ積載車を配備し、旧可搬式ポンプ積載車は消防署に配備替
51 年	9 月	寺分団員奥泰治氏が訓練中に殉職（二階級特進）
	10 月	星田分団車庫完成、ポンプ車を更新配備
52 年	5 月	森分団車庫増築、星田分団ポンプ車を森分団に配備替
	11 月	私部分団ポンプ車を更新配備
53 年	2 月	私市分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	3 月	寺分団車庫増築、私部分団ポンプ車を寺分団に配備替
	3 月	消防庁長官から表彰旗を受章

54年	9月	日本消防協会から可搬式ポンプ積載車の寄贈を受け、森分団に配備し、旧可搬式ポンプ積載車を消防署に配備替
55年	1月	倉治分団神宮寺車庫完成
	10月	星田分団に可搬式ポンプ積載車を配備
56年	4月	六代目消防団長に林清次氏が就任
	4月	方面隊制を施行
	10月	私市分団にポンプ車を配備
58年	9月	寺分団にポンプ車を配備
	12月	倉治分団にポンプ車を配備
60年	10月	森分団が北河内地区支部の代表として大阪府消防大会に出場
	10月	倉治分団に可搬式ポンプ積載車を配備
61年	7月	寺分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	8月	北河内支部大会で第3方面隊が規律訓練を披露
62年	3月	私部分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	5月	郡津分団に可搬式ポンプ積載車を配備
	8月	北河内支部大会で第1方面隊が規律訓練を披露
63年	2月	倉治分団車庫完成
	6月	星田分団「第3回大阪の消防大賞」を受章
	9月	寺分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場
平成 元年	2月	日本消防協会から竿頭綬を受章
	4月	七代目消防団長に廣隆夫氏が就任
	9月	北河内支部大会で第2方面隊が規律訓練を披露
	9月	星田分団ポンプ車更新配備
2年	3月	私市分団に可搬ポンプ積載車を配備、同ポンプ車を森分団に配備替
	8月	北河内支部大会で第3方面隊が規律訓練を披露
3年	9月	北河内支部大会で第1方面隊が規律訓練を披露
4年	9月	私市分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（ポンプ車の部）
	10月	星田分団可搬ポンプ積載車を更新配備
5年	3月	大阪府消防協会長より表彰旗を受章
	8月	北河内支部大会で第2方面隊が規律訓練を披露
	10月	私部分団車庫完成（移転）
6年	2月	倉治分団に小型動力ポンプ（B3級）更新配備
	8月	北河内支部大会で第3方面隊が規律訓練を披露
	10月	私部分団にポンプ車（CD-I型）を更新配備
7年	2月	阪神・淡路大震災に伴う応援派遣
	2月	郡津分団に小型動力ポンプ（B3級）更新配備
	7月	本部分団に可搬ポンプ積載車を配備（ポンプ車廃車）
	9月	本部分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（小型ポンプの部）
	9月	森分団にポンプ車（BD-I型）及び可搬ポンプ積載車更新配備
8年	2月	私市分団に小型動力ポンプ（B3級）更新配備
	3月	寺分団車庫完成

	7月	郡津分団ホース干し場改修
	8月	北河内支部大会で第1方面隊が規律訓練を披露
9年	4月	八代目消防団長に北村三郎氏が就任
	8月	北河内支部大会で第2方面隊が規律訓練を披露
	9月	私市分団にポンプ車（CD－I型）更新配備
平成10年	5月	本部分団を廃団し7分団となる
	8月	北河内支部大会で第3方面隊が規律訓練を披露
11年	4月	九代目消防団長に堀江成幸氏が就任
	9月	私部分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（ポンプ車の部）
	9月	寺分団にポンプ車（CD－I型）更新配備
12年	8月	北河内支部大会で第1方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
13年	8月	北河内支部大会で第3方面隊及び森・寺分団が規律訓練を披露
14年	3月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
	9月	倉治分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（小型ポンプの部）
	9月	郡津分団にポンプ車（CD－I型）更新配備
15年	4月	十代目消防団長に橘内誠治氏が就任
	8月	北河内支部大会で第1方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
16年	8月	北河内支部大会で第3方面隊及び森・寺分団が規律訓練を披露
17年	8月	北河内支部大会で第1方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
	10月	倉治分団に可搬式ポンプ積載車を更新配備
18年	3月	大阪府知事より表彰旗を授章
	3月	私市分団に私市区より可搬式ポンプ積載車の寄贈を受ける
	9月	星田分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（ポンプ車の部）
	9月	星田分団に可搬式ポンプ積載車を更新配備
19年	4月	十一代目消防団長に辻一氏が就任
	8月	北河内支部大会で第3方面隊及び森・寺分団が規律訓練を披露
20年	3月	日本消防協会長より表彰旗を受章
	8月	北河内支部大会で第1方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
21年	9月	星田分団が北河内支部の代表として大阪府消防大会に出場（小型ポンプの部）し、第3位入賞
22年	8月	北河内支部大会で第1方面隊及び私部分団が規律訓練を披露
	9月	私部分団にポンプ車（CD－I型）を更新配備
23年	8月	北河内支部大会で森・寺分団及び第3方面隊が規律訓練を披露
	8月	森分団移転に伴い分団車庫新規設置
	8月	森分団小型動力ポンプ付積載車（軽自動車・四輪駆動車）を更新配備
	9月	森分団消防ポンプ自動車（CD－I型）を更新配備（自動車NOX・PM法）
	11月	全国女性消防団活性化大会（香川県）に女性消防団員2名が参加
24年	2月	私部分団小型動力ポンプ付積載車を更新配備

交野市消防本部（署）組織図



総務課

総務課

庶務・管理係

近年の災害事象は、地球の温暖化や環境劣化、急速な都市化などの影響を受け予想しがたい災害が発生しているところでございます。

昨年は、7月に新潟県と福島県会津を中心に総雨量 700mm を越える大雨となり、堤防決壊や河川の氾濫、土砂災害による住宅や道路の被害も多発し、新潟県、福島県においては、4名の尊い人命が失われた。また、8月に発生した台風12号は、大型でさらに動きが遅かったため、西日本から北日本の山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となり、土砂災害、浸水、河川の氾濫等により10県で死者78名の尊い人命を失うなど、近年の災害はその規模、経過等、全く予想がつかない状態になってきておりますのが実情でございます。

このような状況の中、市民の生命・身体・財産を守るため、本年も5名の消防吏員を採用し、消防吏員としての専門知識や技術の修得並びに資質の向上を図るため、府立消防学校に6ヶ月間の初任教育生として派遣しました。さらに、各種専門知識及び技能を習得し、業務を的確に遂行するため、府立消防学校に23名を教育派遣しました。一方、救急救命士に対しては、年々高度化する救命処置の修得のため、府立消防学校で気管挿管講習・薬剤投与追加講習、関西医科大学高度救命救急センターに於いて救急救命士就業前研修、関西医科大学附属滝井病院に於いては、気管挿管病院実習並びに救急救命士就業中再教育病院実習に派遣し、より高度な救命処置と応急処置の習熟に努めた。

また、市内の児童や園児が社会学習の一環として、年間11回延べ866人が来署し、市民の安全を守るため、日夜職務に励んでいる消防署の業務について学習指導を実施した。

1. 一般会計に占める消防予算（当初予算）

（単位：千円）

年度	一般会計	消防予算	比率（％）
平成21年度	20,053,990	616,164	3.1
平成22年度	23,478,492	605,778	2.6
平成23年度	21,311,813	684,536	3.2

※ 消防予算のうち災害対策費を除く

2. 3年間の消防予算の推移（当初予算）

（単位：千円）

科目	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
消 防 費		616,164	605,778	672,371
内	常備消防費	570,493	542,557	524,785
	非常備消防費	32,906	32,551	32,026
訳	消防施設費	12,495	30,400	115,290
	水防費	270	270	270

※ 消防予算のうち災害対策費を除く

3. 消防本部（署）階級別職員数

(条例定数73人)

階 級	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事務 職員	計
	1	10	7	22		27		67

4. 現有職員配置状況

年度 所属	平成22年度		平成23年度		条 例 定 数
消 防 長	1		1		—
参 事	1		1		—
署 長	1		1		—
次 長	1		1		—
総 務 課	5		3		—
予 防 課	4		4		—
警 備 課	1 課 2 課	5 5	1 課 2 課	5 6	—
計	6 8		6 7		7 3

5. 消防本部文書受発状況

受・発 係	受理	発送
庶務・管理	469	212
消 防 団	134	62
予 防	213	79
危 険 物	61	12
警 備	234	175
救 急	224	60
計	1,335	600

6. 支出命令書（予算）執行件数

予 算 科 目	執 行 件 数
常 備 消 防 費	1,078件
非 常 備 消 防 費	524件
消 防 施 設 費	13件
水 防 費	6件
計	1,621件

7. 庁舎等維持管理関係委託状況

業 務 内 容	委 託 期 間	委 託 金 額	委 託 業 者
庁舎清掃委託	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	1,512,000円	株式会社大庫ビルサービス
自家発電機管理委託	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	210,000円	司電機産業株式会社
電気管理委託	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	163,800円	川口電気設備管理事務所
一般廃棄物処理業務委託	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	85,680円	都市環境開発株式会社
消 防 用 設 備 点 検	平成24年1月25日	31,500円	有限会社 ダイター

8. 消防署見学状況

見学月日	名 称	人 員	見学月日	名 称	人 員
5 月 13 日	交野小学校	128 名	6 月 29 日	藤が尾小学校	62 名
5 月 19 日	郡津小学校	134 名	9 月 6 日	岩船小学校	67 名
5 月 20 日	私市小学校	68 名	10 月 7 日	妙見坂小学校	75 名
6 月 23 日	旭小学校	81 名	10 月 18 日	長宝寺小学校	62 名
6 月 27 日	倉治小学校	96 名	11 月 17 日	天野が原保育園	21 名
6 月 28 日	星田小学校	72 名			
計			866 名		

9. 職員教養派遣状況

派 遣 期 間	教 育 内 容	場 所	人 員
4 月 5 日 ～ 9 月 22 日	第 90 回初任教育	府立消防学校	5 名
4 月 12 日 ～ 4 月 15 日	第 82 回特別教育はしご車技術講習	府立消防学校	1 名
4 月 18 日 ～ 4 月 21 日	第 83 回特別教育はしご車技術講習	府立消防学校	1 名
4 月 23 日 ～ 4 月 24 日	ガス溶接技能講習	テクノセンター南大阪	1 名
5 月 10 日 ～ 6 月 29 日	第 7 回特別教育救急救命士薬剤投与講習	府立消防学校	1 名
5 月 18 日 ～ 5 月 20 日	玉掛け技能講習	大阪特殊自動車学校	1 名
5 月 23 日 ～ 5 月 25 日	小型移動式クレーン技能講習	大阪特殊自動車学校	1 名
6 月 8 日 ～ 7 月 2 日	大型 I 種免許資格取得講習	阪奈自動車教習所	1 名
6 月 15 日 ～ 8 月 5 日	第 203 回専科教育救急科	府立消防学校	2 名
6 月 29 日	消防財政実務研修会	大阪市消防局	1 名
7 月 4 日 ・ 7 月 7 日	水難救助基本技術訓練	大阪市消防学校	2 名
7 月 4 日 ～ 7 月 5 日	特定化学物質作業主任者	エル・おおさか南館	1 名
7 月 6 日 ～ 7 月 21 日	第 94 回幹部教育初級幹部科	府立消防学校	1 名
7 月 12 日	公務災害防止対策セミナー	大阪市消防局	2 名
8 月 18 日 ～ 3 月 15 日	第 23 回救急救命士養成課程	府立消防学校	1 名
9 月 6 日 ～ 9 月 7 日	東ブロック合同第二級陸上特殊無線技士	大東市消防本部	2 名
9 月 26 日 ～ 10 月 28 日	救急救命士気管挿管病院実習	関西医科大学滝井病院	1 名
10 月 7 日	消防職員体力練成研修会	大阪市消防局・南津守くら公園	2 名
10 月 13 日 ～ 10 月 14 日	消防職員安全衛生研修会	新梅田研修センター	1 名
12 月 15 日 ～ 12 月 16 日			1 名
10 月 20 日 ～ 11 月 29 日	第 204 回専科教育救助科	府立消防学校	2 名
11 月 1 日 ～ 11 月 16 日	第 205 回専科教育火災調査科	府立消防学校	2 名
12 月 2 日 ～ 12 月 3 日	大阪市消防局指令情報センター実務研修	大阪市消防局	1 名
1 月 17 日 ～ 1 月 26 日	第 98 回幹部教育中級幹部科	府立消防学校	1 名
1 月 11 日 ～ 3 月 1 日	第 206 回専科教育救急科	府立消防学校	2 名
2 月 1 日 ～ 2 月 21 日	第 207 回専科教育予防査察科	府立消防学校	1 名
2 月 13 日	安全運転管理者講習	メセナひらかた会館	2 名
2 月 24 日	第 96 回幹部教育上級幹部科	府立消防学校	1 名
3 月 7 日 ～ 3 月 16 日	第 208 回専科教育特殊災害科	府立消防学校	2 名
3 月 7 日 ～ 4 月 4 日	救急救命士気管挿管病院実習	関西医科大学滝井病院	1 名
計			44 名

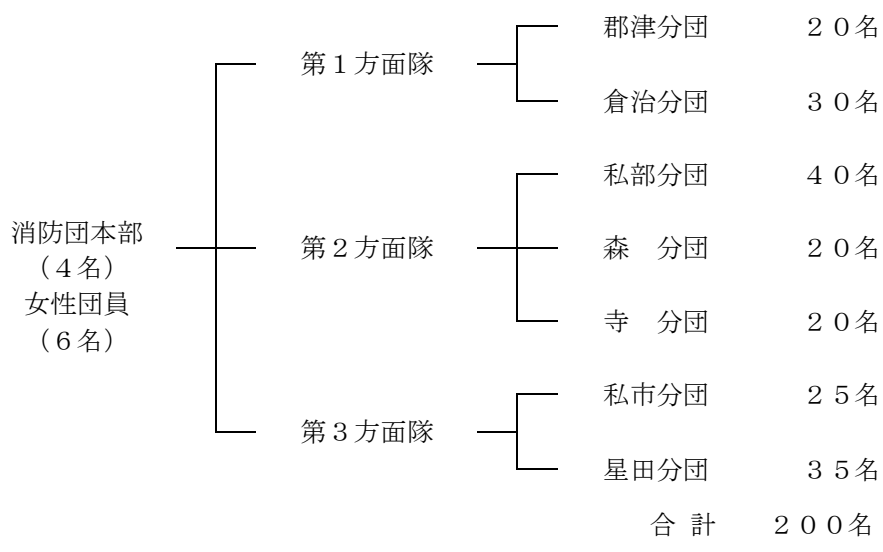
消 防 団

消防団係

本市消防団は、常備消防との円滑な連携のもと、消防の崇高な精神である奉仕の精神に立脚し、市民の生命、身体、財産等を火災等のあらゆる災害から守り「安全・安心」を主題とした緑豊かで暮らしやすいまちをめざし、日夜災害防止に全力を傾注した。

- ※ 団員の消防技術の向上を図るため各種大会に参加するとともに、初任教育訓練、北河内地区支部大会、大阪府消防操法大会、機関員養成訓練等の各種訓練を実施した。
- ※ 全国一斉の春秋火災予防運動期間中、駅頭、店頭、夜間巡行広報等を実施し、市民に対し火災予防の普及啓発に努めた。
- (3) 香川県に於いて開催された全国女性消防団員活性化大会に女性消防団員が参加した。
- (4) 森、寺分団と第3方面隊が合同で規律訓練を実施し、北河内地区支部総合訓練大会で訓練の成果を披露した。
- (5) 8月に森分団に最新悦の小型動力ポンプ付積載車(軽自動車・四輪駆動車)を4,903,500円、9月に排出ガス規制をクリアした最新鋭のCD-I型ポンプ自動車を15,225,000円で更新配備し、森区民ホール横に、新たに森分団車庫を新設した。
- (6) 普通救命講習会に延べ12回、団員が市民等にAED等の救命講習の指導にあたった。
- (7) 春秋行楽シーズン中、延べ18日、車両18台、団員81名を動員して火災発生危険行為等の監視活動及びハイカー等に対し、山火事予防を強力に訴え山林火災の防止に努めた。
- (8) 歳末特別警戒に延べ4日間、267名の団員が夜警及び巡回活動を実施した。
- (9) 2月に大阪府民の森くろんど園地において各方面隊の連携を図り、山林中継訓練を実施した。
- (10) 2月に私部分団に最新悦の小型動力ポンプ付積載車を10,290,000円で更新配備した。
- (11) 火災出動のため、延べ6回、7分団、113名が出動した。
- (12) その他、放水訓練、地域防災訓練等に延べ56回、859名の団員が参加した。

1. 消防団の組織 平成24年3月31日現在



2. 主要事業一覧表

実施月	事業内容	場所	参加人員	
4月	訓練指導研修・中級幹部科	消防学校	3名	
4月～5月	春の山火事予防運動	市内山林全域	11回	38名
6月	基本操法訓練	消防本部	4回	26名
6月	支部初任・初級団員教育訓練	消防学校	17名	
8月	北河内地区支部総合訓練大会	寝屋川東部公園	59名	
9月	大阪府消防操法訓練大会	消防学校	9名	
10月～11月	秋の山火事予防運動	市内山林全域	7回	43名
11月	全国女性消防団員活性化大会	香川県	2名	
11月	駅頭広報	市内各駅	17名	
11月	秋の火災予防運動夜間広報	管内全域	2日	60名
11月	特別教育機関員研修	消防学校	3名	
12月	歳末特別警戒	管内全域	4日	267名
1月	消防出初式	市立第4中学校	163名	
2月	山林中継訓練	くろんど園地	130名	
3月	店頭広報	ジャンボスクエア交野	7名	
3月	春の火災予防運動夜間広報	管内全域	2日	63名
年間	機関員養成及び放水訓練	管内全域	44回	726名
年間	普通救命講習受講	消防本部研修室	6回	45名
年間	地域防災訓練	管内全域	12回	133名

備考 毎日曜日各分団において車両点検等を実施した。

3. 火災等出動状況

月別 出動状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	出動回数	2	1		1				1				1	6
	分団数	2	3		1				1					7
	出動車両	4	3		1				2					10
	出動人員	31	31		29				19				3	113

4. 階級別団員数

階 級 分 団	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
団 本 部	1	3			1	1	4	1 0
郡津分団			1	5	2	2	1 0	2 0
倉治分団			1	6	2	3	1 8	3 0
私部分団			1	5	2	4	2 8	4 0
森 分 団			1	5	2	2	1 0	2 0
寺 分 団			1	4	2	2	1 1	2 0
私市分団			1	5	2	3	1 4	2 5
星田分団			1	5	2	4	2 3	3 5
計	1	3	7	3 5	1 5	2 1	1 1 8	2 0 0

5. 年齢別団員数

年 齢 分 団	18 歳 以上	25 歳 以上	30 歳 以上	35 歳 以上	40 歳 以上	45 歳 以上	50 歳 以上	55 歳 以上	60 歳 以上	計
	25 歳 未満	30 歳 未満	35 歳 未満	40 歳 未満	45 歳 未満	50 歳 未満	55 歳 未満	60 歳 未満		
団 本 部				1		4		2	3	1 0
郡 津 分 団	1	1	1	4	3	7	1	2		2 0
倉 治 分 団		1	1	3	7	6	1 0	2		3 0
私 部 分 団		3	6	8	6	9	6	2		4 0
森 分 団			1	2	5	5	5	2		2 0
寺 分 団				9	5	4	1	1		2 0
私 市 分 団	1		6	3	2	8	5			2 5
星 田 分 団			4	9	5	7	7	2	1	3 5
計	2	5	1 9	3 9	3 3	5 0	3 5	1 3	4	2 0 0

6. 勤続年数別団員数

年数 分団	5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 1 5 年 未 満	1 5 年 以 上 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上 2 5 年 未 満	2 5 年 以 上 3 0 年 未 満	3 0 年 以 上	計
団 本 部	3	3				2	2	1 0
郡津分団	4	5	2	6	3			2 0
倉治分団	6	6	4	6	4	4		3 0
私部分団	7	5	9	8	8	3		4 0
森 分 団	5	5	2	4	1	1	2	2 0
寺 分 団	9	2	3	3	2	1		2 0
私市分団	5	2	3	5	4	6		2 5
星田分団	5	5	8	8	3	2	4	3 5
計	4 4	3 3	3 1	4 0	2 5	1 9	8	2 0 0

7. 団員職域状況

計	市 内 (自営業)	市 内 (会社員等)	市 外
2 0 0	4 6	5 4	1 0 0

8. 退職報償金支給状況

退 職 消 防 団 員 数	支 給 金 額
1 0 名	4, 1 1 3, 0 0 0 円

9. 消防団補助金交付状況

補 助 事 業 名	補 助 金 額
消 防 団 事 業 補 助 金	年額 4 5 5, 0 0 0 円
消防団員福祉共済補助金	年額 2 9 7, 7 5 0 円

10. 消防団車両等保有状況

消 防 ポ ン プ 自 動 車						
分団名	年 式	車両番号	乗車定員	ポンプ性能	型 式	使用燃料
郡 津	H 1 4	大阪 8 3 0 ふ ・ 1 1 9	1 0 人	A - 2	CD - I	軽 油
倉 治	H 1 1	大阪 8 3 0 な ・ 1 1 9	6 人	A - 2	CD - I	軽 油
私 部	H 2 2	大阪 8 3 2 せ ・ 1 1 9	6 人	A - 2	CD - I	軽 油
森	H 2 3	大阪 8 3 2 そ ・ 1 1 9	6 人	A - 2	CD - I	軽 油
寺	H 1 1	大阪 8 3 0 す 1 9 - 1 9	1 0 人	A - 2	CD - I	軽 油
私 市	H 9	大阪 8 8 は 3 0 - 1 7	6 人	A - 2	CD - I	軽 油
星 田	H 1 7	大阪 8 3 1 た ・ 1 1 9	6 人	A - 2	CD - I	軽 油

小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車						
分団名	年 式	車両番号	乗車定員	積載小型動力ポンプ		使用燃料
				機種	ポンプ性能	
郡 津	S 6 2	大阪 8 0 あ ・ 4 2 2	4 人	シバウラ	B - 3	ガソリン
倉 治	H 1 7	大阪 8 8 3 あ ・ 1 1 9	4 人	シバウラ	B - 3	ガソリン
私 部	H 2 4	大阪 8 3 2 と ・ 1 1 9	6 人	トーハツ トーハツ	B - 2 B - 3	軽 油
森	H 2 3	大阪 8 8 0 あ 1 7 - 8 4	4 人	トーハツ	B - 3	ガソリン
寺	S 6 1	大阪 8 0 あ ・ 3 9 6	4 人	トーハツ	B - 2	ガソリン
私 市	H 1 8	大阪 8 3 0 さ 3 0 - 1 8	6 人	シバウラ トーハツ	B - 3 C - 1	軽 油
星 田	H 1 8	大阪 8 3 1 と ・ 1 1 9	6 人	トーハツ トーハツ	B - 2 C - 1	軽 油

予 防 課

予 防 係

1. 新築・増築・改築の防火対象物には、法令で設置義務のある消防用設備等について指導を行い、設置時には技術上の基準に適合しているか完成検査を実施し、不備欠陥があれば直ちに改修させた。
2. 秋（１１月９日～１１月１５日）、春（３月１日～３月７日）の全国火災予防運動の一環として、駅・店頭及び昼夜間巡回広報を実施するとともに、病院・スーパーマーケット等収容人員の多い対象物へ特別査察を実施し、市民並びに各事業場への警火心の高揚を図った。
3. 春（４月１７日～５月５日）、秋（１０月２日～１１月３日）の交野市山火事予防運動を実施し、森林の保全と山麓住宅の安全を推進するため、山地内のパトロール及び広報活動並びに横断幕の設置をすることにより、入山者等に対して、山火事予防の普及・啓発を図る事に努めた。
4. 重要文化財対象物に対して、関係機関との合同による特別査察を実施し、貴重な財産を火災からの損失防止に努めた。
5. 保育園、老人福祉施設、事業所等に対して避難・通報・初期消火の訓練を通じ、火災予防を呼びかけ、防火安全対策の啓発に努めた。
6. 市民を対象とした初期消火訓練を実施したほか、交野市職員出前講座等を通じ住宅用火災警報器の普及促進に努めた。
7. ８月の織姫の里・天の川星まつり、１１月の健康福祉フェスティバル、１２月にはイザ！カエルキャラバンに於いて、市民に対して火災予防防火対策及び住宅用火災警報器の設置アンケート調査を実施した。

1. 防火対象物

区 分		対 象 物	対象物数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3
	ロ	公会堂又は集会場	35
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備または物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1
	ロ	飲食店	14
4		百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	60
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	434
6	イ	病院、診療所又は助産所	22
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	18
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	24
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	7
7		小、中、高等学校、大学各種学校その他これらに類するもの	35
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	3
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	6
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	14
12	イ	工場又は作業場	149
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	11
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	53
15		前各号に該当しない事業場	89
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	72
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	21
16の2		地下街	
16の3		準地下街	
17		重要文化財等	4
18		延長50メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
計			1,079

※150㎡未満の対象物は除く。

2. 建築同意事務処理状況

申請要旨	同意		計
	指導あり	指導なし	
新築	21	21	42
増築	5	2	7
改築	1		1
その他			
計	27	23	50

3. 用途別建築同意状況

区分	用途別	件数
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ 公会堂又は集会場	
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ 遊技場又はダンスホール	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	ニ カラオケボックスその他遊興のための設備または物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	□
3	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ 飲食店	
4	百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	2
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	4
6	イ 病院、診療所又は助産所	
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	6
	ハ 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	3
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1
7	小、中、高等学校、大学各種学校その他これらに類するもの	
8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
11	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	1
12	イ 工場又は作業場	3
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ 自動車車庫又は駐車場	1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14	倉庫	3
15	前各号に該当しない事業場	2
16	イ 特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	1
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	
16の2	地下街	
16の3	準地下街	
17	重要文化財等	
18	延長50メートル以上のアーケード	
19	市町村長の指定する山林	
20	総務省令で定める舟車	
その他	専用住宅	23
計		50

4. 消防用設備等の設置届出状況

用 途 別 設 備 別	集 会 場 等	遊 技 場 等	飲 食 店	百 貨 店 等	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	病 院 ・ 診 療 所 等	老 人 福 祉 施 設 等	学 校 等	車 両 の 停 車 場 等	神 社 ・ 寺 院 等	工 場 ・ 作 業 場	自 動 車 車 庫 等	倉 庫	事 務 所 等	特 防 を 含 む	複 合 用 途 防 火 対 象 物	複 合 用 途 防 火 対 象 物 特 防 を 含 ま ない	計
消 火 器			2	3	7		10			1		2	3	7	3	1	39	
屋内消火栓設備								1			1			1			3	
パッケージ型消火栓設備																	0	
スプリンクラー設備							7										7	
水噴霧等消火設備																	0	
自動火災報知設備			1	1	4	1	11	4	3		3		2	5	3		38	
ガス漏れ火災警報設備																	0	
共同住宅用自動 火 災 報 知 設 備					1												1	
消防機関へ通報する 火 災 報 知 設 備							5										5	
非常警報設備			1	3	1		5			1							11	
避 難 器 具							3									1	4	
誘 導 灯	1		2	2	4		10			1	1		2	10	2	1	36	
誘 導 標 識				1									1				2	
連 結 送 水 管															□		0	
粉末消火設備・移動式												2					2	
合 計	1		6	10	17	1	51	5	3	3	5	4	8	23	8	3	148	

5. 消防用設備等の設置状況																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
防火対象物の区分			1	2			3		4	5		6			7	8	9		10	11	12	13	14	15	16		16	16	17	18	19	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			イ	ロ	イ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計			劇場・観覧場	公会堂・集会場	キャバレー等	遊技場等	性風俗を営む特店	等カラオケボックス	待合・料理店等	飲食店	百貨店等	旅館・ホテル等	等寄宿舎・共同住宅	病院・診療所等	等老人短期入所施設	等老人デイサービス	幼稚園等	等小・中・高・大・学	図書館・博物館等	図書館・博物館等	蒸気浴場熱気浴場	イ以外の公衆浴場	車両の停車場等	神社・寺院の類	工場・作業場	映画スタジオ等	自動車車庫等	飛行機格納庫等	倉庫	前し各号に事業に該当するもの	特用防火対象物	イ用途以外の火対象物	ロ用途以外の火対象物	地下街	準地下街	重要文化財等	5のアーケード以上	市指定する山林	指定する省令で定める																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			消防用設備等の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

1 5 0 m²未満の対象物を除く

6. 中高層防火対象物状況

階 数 地区別	3	4	5	6	7	8	9	10	計
倉 治	19	4							23
東倉治	7	10		1					18
神宮寺	1								1
郡 津	12	6	1		1		1		21
松 塚		1	6	1					8
幾 野	23	13	2		1				39
私 部	19	21	3		1				44
私部南	2	1	1		1				5
私部西	18	8	7	4	4			3	44
梅が枝	2		25	1	2				30
青 山	1								1
向井田	1	1	1						3
天野が原町	13	4		1					18
森 北	6	4	3	2	1	1			17
森 南	4	3							7
傍 示									0
寺	8	3	1						12
寺南野	1	2							3
私 市	12	3			1				16
私市山手	3								3
星 田	33	13	8	5	1	2			62
星田北	17	5	2				1		25
星田西	5	3	11		1				20
星田山手									0
藤が尾	6	1	25	1					33
妙見坂	4	14							18
妙見東									0
南星台			1						1
計	217	120	97	16	14	3	2	3	472

※一般住宅は除く

7. 防火管理者選解任届出状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
選 任	12	10	7	3	11	4	5	5	2	4	6	4	73
解 任	11	10	6	2	11	3	5	3	2	3	5	3	64

8. 消防検査・立入査察実施回数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
立 入 検 査 等	7	7	3	5	6	3	6	7	1	2	4	21	72

9. 山林パトロール実施状況

月日 職団員	パ ト ロ ー ル 人 員					計
	消防職員	消 防 団 員				
		団本部	第 1 方面隊	第 2 方面隊	第 3 方面隊	
4月17日	2	1	5			8
4月24日	2	1	5			8
4月29日	2	1		5		8
5月3日	2	1		5		8
5月4日	2	1			5	8
5月5日	2	1			8	11
10月2日	2	1			5	8
10月9日	2	1		5		8
10月10日	2	1		5		8
10月16日	2	1		5		8
10月23日	2		5			7
計	22	10	15	25	18	90

10. 訓練指導

指導内容	指導回数	参加人員
通報・避難・初期消火・防火映画会	58	4,772

11. 出前講座

派遣職員数	講座回数	参加人員
2	1	50

1 2. 住宅用火災警報器の地区別設置状況等

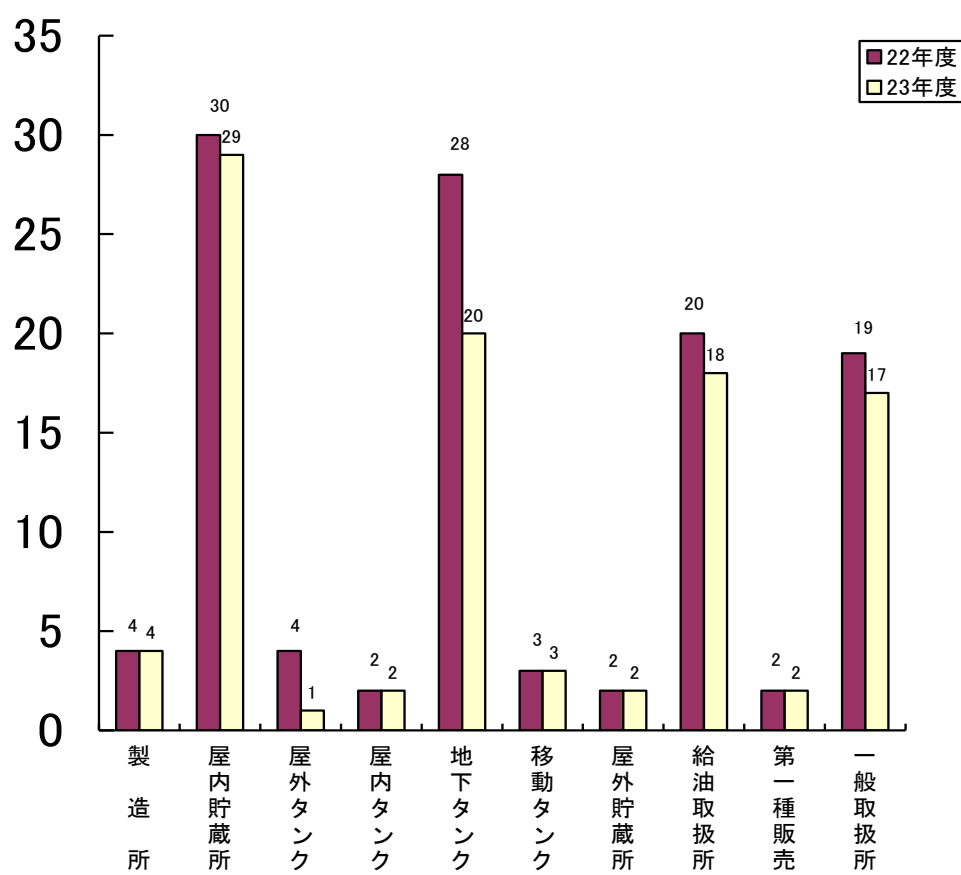
地区名	調査実施件数	回答件数	配布件数	回答率	設置件数	設置率	自火報等 設置件数	自火報等含 む設置率
倉治	1,872	1,227	1,110	66%	541	44.09%	117	48.96%
東倉治	853	296	570	35%	150	50.68%	155	67.63%
神宮寺	321	101	225	31%	40	39.60%	0	39.60%
幾野	1,225	630	778	51%	303	48.10%	318	65.51%
郡津	1,937	1,064	1,437	55%	493	46.33%	431	61.81%
松塚	459	258	157	56%	95	36.82%	210	65.17%
梅が枝	1,040	1,040	2	100%	1,035	99.52%	1,031	99.76%
私部南	215	117	182	54%	65	55.56%	109	76.99%
私部	2,268	1,136	1,318	50%	420	36.97%	529	57.00%
天野が原	1,075	675	530	63%	394	58.37%	168	66.67%
向井田	499	222	319	44%	64	28.83%	77	47.16%
私部西	536	265	274	49%	119	44.91%	790	86.16%
青山	245	142	115	58%	66	46.48%	0	46.48%
星田	2,635	1,352	1,501	51%	541	40.01%	827	62.78%
大字星田	43	41	2	95%	38	92.68%	0	92.68%
藤が尾	626	357	336	57%	227	63.59%	1,037	90.67%
妙見坂	863	445	515	52%	205	46.07%	464	73.60%
妙見東	512	249	316	49%	94	37.75%	0	37.75%
南星台	609	309	353	51%	119	38.51%	0	38.51%
星田山手	489	315	238	64%	128	40.63%	0	40.63%
星田北	326	205	150	63%	84	40.98%	212	70.98%
星田西	562	228	375	41%	93	40.79%	331	75.85%
私市	1,634	789	976	48%	359	45.50%	168	55.07%
私市山手	645	342	353	53%	170	49.71%	12	51.41%
寺	326	169	204	52%	97	57.40%	0	57.40%
森南	414	190	265	46%	113	59.47%	108	74.16%
森北	149	89	75	60%	51	57.30%	232	88.16%
大字森	12	3	11	25%	0	0.00%	0	0.00%
傍示	5	2	3	40%	0	0.00%	0	0.00%
計	22,395	12,258	12,690	55%	6,104	49.80%	7,326	68.58%

※平成22年度データ

危 険 物 係

1. 危険物許可施設に対して、法令等の技術基準に適合した規制指導を実施した。
2. 全国危険物安全週間（6月3日～6月9日）中は、危険物取扱事業所に対し立入査察を実施して、危険物の保安に関する確保について、指導・育成を図った。
3. 危険物許可施設の保安監督者に対して、安全推進講演会や研修会の参加要請し保安監督者としての責務を再認識することによって、事故の発生防止に努めた。
4. 危険物許可施設の取扱者に対し、法令で規定している保安講習への受講指導を行い安全管理の徹底を図った。
5. 保安3法に伴う大阪府が主催する講義形式での法令研修、大阪府保安対策課での2週間にわたる受付業務を主とした受け入れ研修・検査業務を体験するための同行研修等の各種の研修に職員を派遣し必要な知識・技術の習得に努めた。
6. 危険物等積載車両の一斉取締りを、枚方寝屋川消防組合消防本部と合同で、平成23年11月16日、枚方市立総合福祉会館北側で実施した。
7. 大阪府からの保安3法の権限移譲に伴い、大阪府下33消防本部と平成24年3月22日付けで、「保安3法事務連絡機構おおさか」を締結した。

1. 危険物施設数



2. 危険物施設類別状況

区 分 類 別	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			計
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	一 般	
第 1 類		1									1
第 2 類											
第 3 類											
第 4 類	4	2 6	1	2	2 0	3	2	1 8	2	1 7	9 5
第 5 類											
第 6 類											
混 在		2									2
計	4	2 9	1	2	2 0	3	2	1 8	2	1 7	9 8

3. 地区別危険物施設状況

区分 地区別	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所			計
		屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
倉 治								2			2
東 倉 治				2		2				1	5
神 宮 寺											
郡 津				1		1		1			3
松 塚									1		1
幾 野	4			6		1 6	1	4		7	3 8
私 部				3	1	1					5
私 部 南				1		1				2	4
私 部 西				1		1		1		1	4
梅 が 枝											
青 山											
向 井 田				1							1
天野が原町						1					1
森 北								1			1
森 南											
傍 示											
寺											
寺 南 野								1			1
私 市			1	1	1	1		4		1	9
私 市 山 手											
星 田				3					1	2	6
星 田 北		1		1	1	5	1	4		2	1 5
星 田 西											
星 田 山 手											
藤 が 尾		1									1
妙 見 坂										1	1
妙 見 東											
南 星 台											
計	4	2	1	2 0	3	2 9	2	1 8	2	1 7	9 8

4. 危険物手数料納付状況

(単位：円)

区 分	金 額		
設置許可手数料	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	26,000×1	26,000
変更許可手数料	製 造 所	19,500×1	19,500
	給 油 取 扱 所 (屋外)	26,000×1	26,000
	屋 内 貯 蔵 所	13,000×2	26,000
変更完成検査手数料	製 造 所	9,750×1	9,750
	給油取扱所 (屋外)	13,000×1	13,000
	屋 内 貯 蔵 所	6,500×2	13,000
仮使用承認手数料	給油取扱所 (屋外)	5,400×1	5,400
設置完成検査手数料	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	13,000×1	13,000
その他手数料	仮 貯 蔵	5,400×1	5,400
	仮 取 扱	5,400×2	10,800
計			167,850

5. 消防検査・立入査察実施件数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
立入検査等	1	6	19	0	3	3	1	5	1	3	4	5	51

6. 危険物関係事務処理件数

製造所等の別 区分	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所			計
		屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
変 更 許 可	1					2		1			4
変 更 完 成 検 査	1					2		1			4
仮 使 用 承 認								1			1
廃 止 届			3	9		1		2		2	17
保安監督者選解任届		1		3		5	1	10			20
譲渡・氏名・名称変更届		1	1	4		7		5		2	20
軽 微 な 変 更 届								16			16
改 修 計 画 届				9				2			11
計	2	2	4	25		17	1	38		4	93

警 備 1 課

警 備 2 課

警備課

※ 火災統計編

平成23年度中に発生した火災は19件で、前年度より7件減少となり、19日に1件の割合で発生したことになる。

火災種別では、建物火災12件、林野火災0件、車両火災3件、その他火災4件となっている。

出火原因では、燃焼機器3件、放火（疑い含む）3件、火遊び3件、電気関係2件、焚き火の移火2件、その他の原因にあつては6件となっており、火災による損害額は33,676（千円）で、前年度と比較して、24,743（千円）の増額となった。

また、負傷者は2名で前年度と同数となっており、死者についても1名で前年度と同数である。

※ 救急統計編

救急の出動件数は2,809件出動し、2,606名を医療機関へ搬送したが、前年度と比較して出動件数で220件の増加、搬送人員で231名の増加となった。

これは、救急車が1日あたり7.69件出動して、市民30人（平成23年度末人口78,539人を基準）に1人が医療機関に運ばれた割合となった。

救急搬送途上に救急隊員が行った傷病者に対する応急処置・高度救命処置・特定行為は18項目で、延べ9,974回、心肺停止後救命処置を施した件数は89件、生存退院は2名であった。

また、二次及び三次、四次（重複）救急出動件数は607件発生し、全体の出動件数のうち約22%を占めている。

※ 救助統計編

救助出動件数は45件で、前年度より10件の増加となり、交通事故16件、その他の事故24件、ガス及び酸欠事故1件、水難事故1件、機械による事故1件、火災（建物）1件、建物等による事故1件に出動し、負傷者39名を救出した。

※ 通信統計編

緊急通報システムの119番（一般加入通報を含む）受信状況は、火災・救急・救助・警防・その他を合わせて5,384回受信した。これは1日平均14.8回の受信となり、携帯電話からの火災・救急・救助・警防の119番受信（転送含む）回数は829回であった。

また、気象情報の受信は、警報6件、注意報193件、情報等801件であった。

※ 主要行事・訓練編

- （1）春・秋の火災予防運動、消防出初式、年末年始特別警戒等主要行事。
- （2）11月13日、健康フェアに参加。ポンプ車・梯子車の展示、東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊活動写真展示及び子供用現場外套装着体験等を実施。
- （3）8月6、7日織姫の里・天の川星まつりに参加。

- (4) 12月3日、イザ、カエルキャラバン参加。煙道体験、ポンプ車展示及び東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊活動写真展示、子供用現場外套装着体験等を実施。
- (5) 3月4日環境フェスタに参加。ポンプ車の展示を行った。
- (6) 大阪府高圧ガス防災訓練へ参加。
- (7) 府立消防学校にて列車事故救出訓練を実施。
- (8) 星田園地にて山岳救助訓練を実施。

- (9) 初期消火訓練・避難訓練・救急法・普通救命講習等で102団体、延べ5,434名に訓練指導を実施した。
- (10) 中学生を対象とした職場体験を通じて、普通救命講習を行い生徒62人に普通救命講習受講修了証を発給した。(実施時間8:30~16:00)

※ 消防施設等状況編

市街地の消防水利状況は、平成24年3月31日現在、消火栓1,439基、防火水槽40t以上66槽となった。

※ 各種事業実績

- (1) 消防管理地及び山林防火施設の枯木伐採、高圧ガス製造施設定期検査、感染性医療廃棄物処理等を委託事業として実施した。
- (2) Nox、PM法の施工期限満了による既存タンク車の運用不可に伴い、最新鋭のキャブ付きタンク車を62,370,000円で更新配備した。
- (3) 半自動式除細動器の保守修了に伴い、最新の半自動式除細動器を更新配備した。
- (4) 耐用年数を経過した指令台構成パーソナルコンピューターの更新を実施。
- (5) 消防救急無線デジタル化に伴う基本設計業務委託。
- (6) 消火栓設置等負担事業として、消火栓1基の新設、7基の移設、17基の修理を実施した。

※ 各種届出等状況編

各種届出受理状況の総数は186件で、火煙上昇届101件、道路工事届68件、水道断水届1件、催物開催届15件、煙火打上1件を受理した。一方、各種証明書事務処理状況は、り災証明書34通、救急搬送証明書1通を発給した。

1. 火災統計編

(1) 過去3年間の火災概況

(単位:件)

年度別 区分		平成23年度	平成22年度	平成21年度
総 出 火 件 数		19	26	26
内 訳	建物火災	12	12	14
	林野火災	0	0	2
	車両火災	3	0	2
	その他火災	4	14	8
焼 損 棟 数 ※()内は類焼棟数		13(1)	15(3)	15(1)
内 訳	全焼	2	1	3
	半焼	0	0	1
	部分焼	6	2	0
	ぼや	4	12(3)	11(1)
焼 損 建 物 面 積 (㎡)		287	279	268
焼 損 林 野 面 積 (a)		0	0	5
り 災 世 帯 数		13	11	10
り 災 人 員		34	26	24
人的被害(人)	死 者	1	1	0
	負 傷 者	2	2	3
損 害 額 (千円)		33,676	8,933	29,965
内 訳	建 物	33,649	8,901	29,655
	林 野	0	0	0
	車 両	24	0	309
	そ の 他	3	32	1
一 日 当 た り の 損 害 額 (千円)		92	24	82
主 な 出 火 原 因	1位	燃焼機器 3	放火(疑い含む) 13	煙草 6
	2位	放火(疑い含む) 3	煙草 3	放火(疑い含む) 5
	3位	火遊び 3	電気関係 3	電気関係 5
	4位	電気関係 2	火遊び 2	天ぷら油の加熱 2
	その他	その他 8	その他 5	その他 8

(2) 地区別・月別火災発生状況

(単位:件)

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地区別	計	3	1	0	2	1	1	2	0	1	3	3	2
	19												
倉治	7	2					1				1	2	1
東倉治	1				1								
神宮寺	0												
郡津	1												1
松塚	0												
幾野	1										1		
私部	2							1			1		
私部南	0												
私部西	0												
梅が枝	1				1								
青山	0												
向井田	0												
天野が原町	0												
森北	0												
森南	1		1										
傍示	0												
寺	0												
寺南野	0												
私市	0												
私市山手	0												
星田	2	1										1	
星田北	0												
星田西	1							1					
星田山手	0												
藤が尾	1									1			
妙見坂	0												
妙見東	0												
南星台	1					1							
山地内	0											□	

2. 救急統計編

(1) 過去3年間の事故別救急出動状況

(単位:件)

年度別 区分		平成23年度	平成22年度	平成21年度	
出 動 件 数		2,809	2,589	2,375	
事 故 種 別	火 災	10	21	23	
	自然災害		1		
	水難事故				
	交通事故	358	326	320	
	労働災害	19	18	19	
	運動競技	12	18	15	
	一般負傷	429	371	321	
	加害事故	17	13	15	
	自損行為	41	36	30	
	急 病	1,779	1,675	1,535	
	その他	転院搬送	130	103	92
		医師搬送			
		資機材搬送			□
		その他	14	7	5
搬 送 人 員		2,606	2,375	2,175	
管内 管外 搬送 別	交 野 市	1,160	1,099	1,029	
	枚 方 市	944	848	773	
	寝屋川市	143	99	93	
	他市町村	359	329	280	
一日当たりの 出動件数 （件）		7.69	7.09	6.51	
一日当たりの 搬送人員 （件）		7.13	6.51	5.96	

(2) 地区別救急出動状況

(単位:件)

地区別	事故別 計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	内不搬送
	2,809	10	0	0	358	19	12	429	17	41	1,779	144	239
倉治	254	3			34	2		40	5	5	162	3	22
東倉治	54				6			6			42		6
神宮寺	14				1			4		1	8		3
郡津	193				21			35		11	126		15
松塚	80				2			15	1	1	59	2	11
幾野	146	1			16	3	1	26	2		94	3	10
私部	312				26	4		38	2	2	192	48	21
私部南	49				8		2	7		1	30	1	6
私部西	176	1			53	2		26		2	81	11	20
梅が枝	115	2			10			13			83	7	11
青山	37				14			5	1		17		1
向井田	73				26		4	10		1	32		3
天野が原町	130				17		1	18			72	22	5
森北	30				4			4			21	1	1
森南	51	1			2			11	1		34	2	10
傍示	1							1					
寺	36				1			3		2	29	1	2
寺南野	9				3		2	1			3		1
私市	169	1			28	1		38	1	1	99		16
私市山手	48				1			12	1		33	1	9
星田	351	1			29		1	51	3	5	250	11	25
星田北	98				31	6	1	8		2	49	1	9
星田西	41				4			4		2	27	4	3
星田山手	25							8			17		1
藤が尾	160				9			20		3	104	24	16
妙見坂	69				1			11			56	1	3
妙見東	36				1	1		4			29	1	6
南星台	39				2			9		2	26		3
その他	13				8			1			4	□	

(3) 年齢別救急搬送状況

(単位:人)

年 齢 別		新生児 28日以内	乳幼児 29日以上 7歳未満	少年 7歳以上 18歳未満	成人 18歳以上 65歳未満	老人 65歳以上
計	2,606	4	178	172	909	1,343

(4) 所要時間別病院収容状況

(単位:人)

事故種別	所要時間	出動から最終医療機関等に収容した時間					
	計	10分 未満	10～20 分	20～30 分	30～60 分	60～120 分	120分 以上
	2,606		80	897	1,483	132	14
急病	1,641		35	522	1,005	72	7
交通事故	354		25	157	158	13	1
一般負傷	395		14	122	223	32	4
その他(上記以外)	216		6	96	97	15	2

(5) 診療科目別搬送状況

(単位:人)

診療科目 搬送人員		内 科	循 環 器	呼 吸 器	小 児 科	新 生 児	外 科	整 形 外 科	脳 外 科	胸 部 外 科	腹 部 外 科	血 管 外 科	口 腔 外 科
合計	2,606	868	162	19	179		182	426	480				
内管外	1,477	299	156	18	167		58	180	316				

小児外科	産婦人科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科	神経内科	精神科	その他 (内訳) 救命センター 消化器内科 形成外科等
	41	8		25	2		31	183
	44	6		21	0		29	183

(6) 月別重複救急出動状況

(単位:件)

月別 重複回数	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二次重複	527	47	30	42	65	48	40	37	41	44	46	40	47
三次重複	76	9	4	7	10	4	5	5	6	5	8	6	7
四次重複	4			1		2			1				
(1号出動中重複)	93	1	5	1	8	8	8	9	11	11	13	9	9
(2号出動中重複)	25	8	3	6	2	3		2			1		
(3号出動中重複)	1				1							□	

(7) 救急隊員が行った救急処置状況

(単位:件)

応 急 処 置	種別 計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
止 血	48	10	6	29	3
固 定	227	4	145	51	27
人 工 呼 吸	2	1		1	
胸骨圧迫 (心臓マッサージ)	0				
うち 自 動	0				
心 肺 蘇 生	70	52		10	8
うち 自 動	0				
酸 素 吸 入	594	459	23	32	80
保 温	14	6	2	3	3
被 覆	211	6	83	97	25
在 宅 療 法 継 続	39	32	1	2	4
A 点滴処置	9	7			2
B 気管切開・人工肛門等	9	7	1	1	
C 上記以外の処置	23	19		2	2
シ ョ ッ ク パ ン ツ	0				
そ の 他 の 処 置	2,188	1,368	309	329	182
血 圧 測 定	2,394	1,503	343	356	192
心・呼吸音の聴取	975	659	117	117	82
血中酸素飽和度測定	2,526	1,588	349	380	209
心 電 図 測 定	568	463	21	26	58
うち 伝 送	0				
気 道 確 保	93	72	1	11	9
A 用手によるもの	51	41	1	4	5
B 経鼻エアウェイ	2				2
C 喉頭鏡・鉗子	2			2	
D ラリngeアル等	18	15		1	2
E 気 管 挿 管	20	16		4	
除 細 動	7	6			1
静 脈 路 確 保	12	8		2	2
薬 剤 投 与	6	4		2	□

※ 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、搬送人員と応急処置項目等の合計数とは一致しない。

3. 救助統計編

(1) 救助出動状況

(単位:人)

NO	発生日	出動場所	事故種別	事故内容	負傷程度			
					死亡	重症	中等症	軽症
1	4月1日	寝屋川市	交通事故	車内に閉じ込め				1
2	4月7日	藤が尾	その他	建物に閉じ込め				1
3	4月19日	私市	交通事故	車内に閉じ込め		2		
4	4月25日	私市	交通事故	男性が列車に衝突した	1			
5	4月27日	松塚	その他	建物に閉じ込め				1
6	5月1日	倉治	交通事故	車両の玉突き事故				3
7	5月16日	私部	その他	男性が水路に墜落			1	
8	6月4日	大字倉治	その他	ハイキング中に転倒				1
9	6月12日	私部西	その他	建物に閉じ込め			1	
10	6月22日	松塚	その他	建物に閉じ込め				
11	6月28日	星田北	交通事故	車内に閉じ込め				1
12	7月7日	梅が枝	その他	建物に閉じ込め				1
13	7月9日	倉治	その他	男性が水路に墜落	1			
14	7月15日	星田	その他	屋外での救急搬送支援			1	
15	7月17日	大字私市	その他	山林内での救急搬送支援			1	
16	7月24日	梅が枝	火災(建物)	建物火災	1			
17	8月4日	梅が枝	その他	建物に閉じ込め				
18	8月5日	東倉治	交通事故	女性が列車に衝突した	1			
19	8月5日	倉治	その他	建物に閉じ込め			1	
20	8月9日	私部南	交通事故	車内に閉じ込め				
21	9月20日	枚方市	交通事故	救急隊の活動支援(第2京阪上)				1
22	10月8日	向井田	交通事故	車と法面の間に挟まれた				1
23	10月13日	私部南	機械による事故	機械に手が挟まれた		1		
24	10月29日	私市	その他	山林内での救急搬送支援				1
25	11月2日	私市	交通事故	救急隊の活動支援			1	
26	11月10日	大字私市	その他	山林内で死亡確認のため不搬送	1			
27	11月15日	藤が尾	その他	建物に閉じ込め				
28	11月21日	星田北	交通事故	自転車河川へ転落				1
29	11月28日	私部	交通事故	車内に閉じ込め				1
30	12月23日	梅が枝	その他	建物に閉じ込め			1	
31	12月28日	星田西	その他	建物に閉じ込め				
32	1月8日	妙見東	建物等による事故	建物から転落			1	
33	1月10日	星田	水難事故	池に人が浮いている	1	□		

34	1月24日	倉治	ガス及び酸欠事故	有毒ガスを発生させた自損行為			1	
35	2月9日	私部西	その他	建物に閉じ込め			1	
36	2月17日	松塚	その他	建物に閉じ込め				1
37	2月18日	郡津	交通事故	車両で倉庫に衝突した				
38	2月22日	枚方市	交通事故	車内に閉じ込め				1
39	3月6日	私部西	交通事故	車両同士の交通事故			1	1
40	3月9日	星田方面	その他	行方不明者の検索				
41	3月9日	星田方面	その他	行方不明者の検索				
42	3月11日	大字私市	その他	山林内での救急搬送支援			1	
43	3月13日	森北	交通事故	車両同士の交通事故				
44	3月29日	幾野	その他	建物に閉じ込め				
45	3月30日	郡津	その他	自転車のフレームに足が挟まれた	☐			1
計					6	3	12	18

(2) 救助出動前年度比較表

(単位:件)

区分 \ 年度別	平成23年度	平成22年度	平成21年度
火 災	1	0	0
交 通 事 故	16	11	11
水 難 事 故	1	2	2
風水害等自然災害事故	0	0	0
機 械 に よ る 事 故	1	1	0
建 物 等 に よ る 事 故	1	0	1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	1	3	1
破 裂 事 故	0	0	0
そ の 他 の 事 故	24	18	17
合 計	45	35	32

(3) その他の緊急出動状況

(単位:件)

区分 \ 年度別	平成23年度	平成22年度	平成21年度
危 険 排 除	25	27	25
緊 急 確 認	35	40	27
現 場 確 認	4	14	9
虚報・誤報	0	3	5
そ の 他	0	2	1
支 援	64	58	11
合 計	128	144	78

4. 通信統計編

(1) 119番受信状況

(単位:件)

区分		火 災				救 急				救 助				警 防				その他					
		専 用	I P	携 帯	そ の 他	専 用	I P	携 帯	そ の 他	専 用	I P	携 帯	そ の 他	専 用	I P	携 帯	そ の 他	病 院 手 配	訓 練 通 報	試 験 通 報	間 違 い	いた ずら	そ の 他
合計	5,384	5	15	20	1	730	869	782	381	3	6	16	13	4	4	11	36	758	114	813	141	18	644

(2) 無線局一覧表

符号	種 別		周波数	出力	
かたのしょう ほんぶ	基地局	第1装置	市町村波	152. 23MHz	5W
		第2装置	府県共通波	153. 53MHz	10W
		第3装置	救急波	146. 84/142. 84MHz	10W
		第4装置	全国共通波(全共1)	150. 73MHz	10W
		第5装置	全国共通波(全共2)	148. 75MHz	10W
		第6装置	全国共通波(全共3)	154. 15MHz	10W
かたのしょう及び かたのきゅうきゅう	陸上移動局	車 載 型		17基(常備のみ)	
携 帯 型		29基(非常備含む)			

(3) 気象関係

① 気象情報受信状況(大阪管区气象台発表)

種 別		警 報			注 意 報				情 報			
		大雨・洪水	暴風	その他	乾燥・強風	大雨・洪水	雷	その他	火災気象	地震	大雨	その他
計	1,000	3	3	0	62	17	83	31	23	358	158	262

② 気象観測状況(消防本部観測)

雨量	年度内総雨量	1,606.8 mm	1日あたりの最高雨量	5月29日	85.5 mm
風速	年度内平均風速	2.6 m/s	年度内最大風速	7月20日	22.1 m/s
気温	年度内平均気温	16.3 ℃	年度内最高気温	7月10日	38.3 ℃
湿度	年度内平均湿度	65.7 %	年度内最低気温	2月3日	-5 ℃

5. 主要行事・訓練編

(1) 主要行事

実施日	事業内容	回数	実施場所
4月～5月	春の山火事予防運動に伴う駅頭広報	6	私市駅
	消防用パイプライン等地水利調査	12	山地内
6月	危険物安全週間に伴う立入検査	5	市内全域
10～11月	秋の山火災予防運動に伴う駅頭広報	5	私市駅
	秋の火災予防運動(市内巡回広報)	14	市内全域
	大阪府高圧ガス防災訓練	1	大阪市
	健康フェア	1	ゆうゆうセンター
	列車事故救出訓練	1	府立消防学校
12月	カエルキャラバン	1	岩船小学校
	年末特別警戒巡回広報	6	市内全域
1月	平成24年消防出初式	1	第四中学校
	市民に対して消防車両の写真撮影会	1	第四中学校
3月	春の火災予防運動(市内巡回広報)	7	市内全域
	着衣着火事案に伴う燃焼実験	1	府立消防学校
	山岳救助訓練	1	星田園地
備考	その他日常訓練として、実践操法訓練、梯子車操作訓練、各種救助訓練、救助器具取り扱い訓練、救急処置訓練、防火対象物実態調査、消火栓点検、体力練成等を実施。		

(2) 訓練指導状況

指導内容	指導回数	参加人員
通報・避難・初期消火	58	4,772
応急手当普及員講習	2	10
普通救命講習	32	428
救急法	10	224
計	102	5,434

(3) 体験学習実施状況

学校名	月日	内容	人数
関西創価中学校	平成23年10月26日(水)	普通救命講習・消火訓練	7
関西創価中学校	平成23年10月27日(木)	通信指令室・救助訓練	7
交野市立第3中学校	平成23年11月10日(木)	通信指令室・救助訓練	5
交野市立第3中学校	平成23年11月11日(金)	普通救命講習・消火訓練	5
交野市立第4中学校	平成23年11月16日(水)	普通救命講習・消火訓練	6
交野市立第4中学校	平成23年11月17日(木)	通信指令室・救助訓練	6
交野市立第1中学校	平成24年1月25日(水)	普通救命講習・消火訓練	5
交野市立第1中学校	平成24年1月26日(木)	通信指令室・救助訓練	5
交野市立第2中学校	平成24年2月8日(火)	普通救命講習・消火訓練	8
交野市立第2中学校	平成24年2月9日(水)	通信指令室・救助訓練	8

6. 消防施設等状況編

(1) 管内水利状況

ア 市街地

種別	消火栓 合計	公設消火栓	私設消火栓	防火水槽・内()は耐震製			プール
		内()は地上式	内()は地上式	40t以上	20～40t未満	20t未満	()は採水口付
計	1,439(26)	1,376(11)	63(15)	66(26)	4	0	20(6)
地区別							
倉治	118	118		5(2)	2		1
東倉治	37	37					1
神宮寺	23	23					
郡津	93	92	1	4(1)	1		3
松塚	24	18	6	1			
幾野	75(2)	73(1)	2(1)	8(2)	1		1(1)
私部	134(1)	133(1)	1	2			1
私部南	21(1)	20	1(1)				1
私部西	58	56	2	5(2)			
梅が枝	22	2	20	1(1)			
青山	18	18		1(1)			
向井田	31	31		3(3)			1(1)
天野が原町	63(3)	63(3)		5			1(1)
森北・寺南野	21	21					2
森南	26	26					
寺	25(3)	22	3(3)	4(1)			1(1)
私市	100(4)	99(3)	1(1)	2(1)			1(1)
私市山手	28	28					
星田	155(1)	155(1)		3(1)			3
星田北	61	60	1	3(3)			1
星田西	91	91		5(5)			1(1)
星田山手	27(1)	27(1)		5(1)			
藤が尾	71(9)	46	25(9)	1(1)			
妙見坂	49(1)	49(1)		2(1)			1
妙見東	26	26		5			
南星台	42	42		1	□		

イ 山地内(パイプライン施設)

地区名	ル ー ト 名	敷設年度	延長距離(m)	管口径 (mm)	放水口 (箇所)	防火水槽	
						40t 以上	20t 以上 ～ 40t
私 市	私市・獅子窟寺 2ルート	S52	281.5	50	4		2
	私市・獅子窟寺	S57	323.3	65	3		
	獅子窟寺参道	H5	484	65	12		
	獅子窟寺・私市山手	S62	264.5	65	5		
	私市山手・土生川	H1	219.6	65	4		
	獅子窟寺・仁王門	H2	312.4	65	5		
	私市・きつね山	H6	250	65	5		
	私市尺治坪坂	H7	116.8	65	2		
	星の里いわふね	H8	347.6	65	11		
星 田	星田妙見宮	S54	208.3	65	3		
	やすらぎの杜	S62	404.4	65	9		
	星田妙見川	H1	233.2	65	2		
	星田新宮山	H2	100	65	3		
	星田新池右岸	H9	250	65	2		
	星田新池左岸	H10	245	65	3		
森 寺	森南古墳群	S55	362.4	65	3		1
	森南古墳群防火水槽上	H3	489	65	10		
	寺・かいがけの道	H1	298.3	65	6		
傍 示	傍示・かいがけの道	S59	416.75	65	4	1	
	傍示・関電道路	H1	816.1	65	9		
	傍示・私部神社地	H4	543	65	15		
私 部	私部・旗振山・郡南街道	S61	590.5	65	10	1	
	私部・奥山	S62	555.7	65	5		
	私部・口山	S63	419	65	8		
	私部郡南街道・大曲り	H2	510.5	65	9		
	郡南街道・上下 2ルート	H3	608.45	65	12		
倉 治	倉治・宮山	S56	319	65	4		
	倉治・交野山、源氏の滝 2ルート	S60	1,329.87	65	22		
	郡南街道北山、雪が原 2ルート	S62	559.6	65	11		
	倉治・交野CC・交野山	S63	339.5	65	8	1	
	倉治・山手配水地	H1	404.6	65	9		
	倉治・白旗池北	H1	439.5	65	10		
府民 の森	くろんど林苑		2,443.10	100	11	2	3
	星田林苑		2,830.00	100	18	9	
計			18,315.47	□	257	14	6

(2) 保有車両状況

名 称	年 式	車両番号	Nox ・ PM規制
梯子車	H8	大阪88 な 69-62	平成28年3月まで
タンク車	H23	大阪800 は 14-41	規制適合
ポンプ車	H11	大阪800 さ 37-32	規制適合
ポンプ車	H20	大阪831 み 119	規制適合
救助工作車	H19	大阪831 ふ 119	規制適合
高規格救急車	H18	大阪800 す 97-44	規制適合
高規格救急車	H16	大阪800 す 40-74	規制適合
高規格救急車	H9	大阪88 は 32-30	規制適合
2B型救急車	H8	大阪88 は 292	規制適合
軽ダンプ	H9	大阪80 あ 14-17	規制適合
指揮・支援車	H17	大阪800 す 65-80	規制適合
庶務貨物車	H16	大阪400 て 73-69	規制適合
広報・連絡車	H19	大阪800 せ 604	規制適合
査察車	H22	大阪880 あ 14-85	規制適合
人員搬送車	H23	大阪832 な 119	規制適合

7. 各種事業実績編

(1) 消防施設整備委託事業等

委託事業内容	委託期間	委託金額
妙見東1丁目7番地 消防管理地(枯松伐採)	平成23年10月27日から 平成23年10月31日まで	221,550円

委託事業内容	委託目的	委託金額
高圧ガス製造施設定期検査	高圧ガス保安法第35条の2に基づく定期検査	300,000円

委託事業内容	委託目的	委託金額
感染性医療廃棄物 処理業務委託 ☐	救急業務において排出される廃棄物は医療廃棄物であるため廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条第1項の規定に基づき業務委託	50リットルダンボール箱で収集 1箱2,625円 年間24箱×2,625円 合計63,000円

(2) 通信設備整備事業等

委託事業内容	委託目的	委託金額
指令台住民情報更新委託	緊急支援検索システムに詳細な情報を入力することで、119番通報等による適切な措置の向上を図る為	年間費用 54,600円 1回 更新費用 13,650円 年度内 4回更新
消防救急無線デジタル化に伴う基本設計業務委託	平成28年5月末日までに整備しなければならない消防救急無線のデジタル化に向けて、基本設計を委託したもの。	1, 156, 500円

事業内容	目的	金額
位置情報通知システム使用料	NTT回線からの119番通報時に通報者の発信者情報(住所・氏名・電話番号)を表示させる為の使用料	1, 997, 604円(年間)
IP-VPN回線使用料	統合型位置情報通知システムが導入された事により構築した回線(IP電話、NTT回線、携帯電話の位置情報はこの回線を経由しないと表示されない)使用料	505, 704円(年間)

事業内容	目的	金額
指令室保守料	通信指令台や関連機器の不具合等、迅速に復旧する為の保守料	6, 195, 000円
消防無線設備の保守料	消防無線設備の不具合等の調整修理するための保守料	☐ 850, 500円

(3) 負担金補助支出状況

消火栓設置等に係る負担金

交 付 先	内 訳		
交野市水道局	新設	移設	修理
	1基	7基	17基
	410,550円	2,612,400円	4,158,945円
合 計	7,181,895円		

8. 各種届出等状況編

(1) 各種届出等事務処理状況

種別		火煙上昇届	道路工事届	水道断水届	催物開催届	煙火打上
計	186	101	68	1	15	1

(2) 各種証明書発給状況

証明書内容	発行数
り 災 証 明 書	34
証 明 書	0
救 急 搬 送 証 明 書	1
計	35